

農作物病害虫発生現況情報（7月）りんどう編

1 葉枯病

- (1) 7月下旬の巡回調査での発生圃場率は53.8%（平年24.6%）で平年より高かったが、多くの圃場では下位葉での発生にとどまっている（図1左）。
- (2) 採花部での発生圃場率は15.4%（平年2.1%）で平年より高く、発生程度の高い圃場もあった（図1右）。

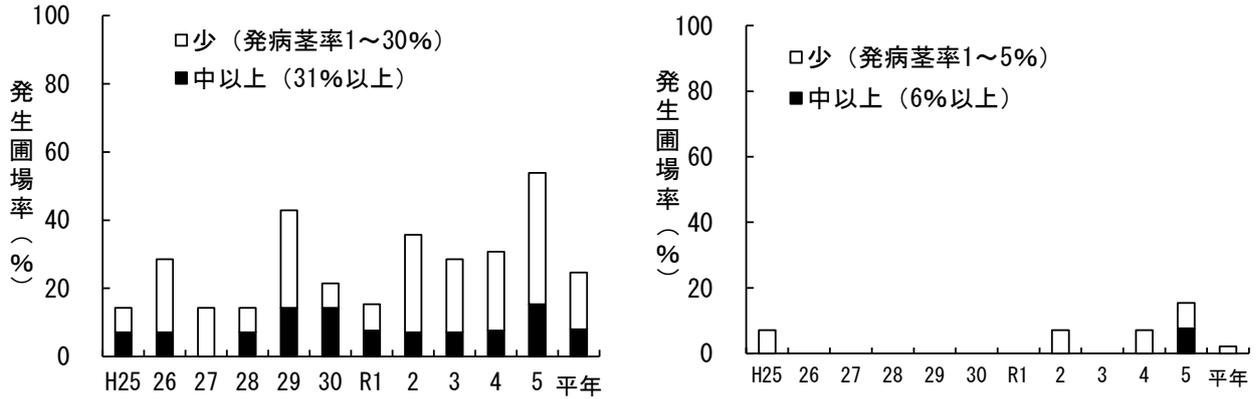


図1 葉枯病の発生圃場率の年次推移（左：株全体、右：採花部、7月下旬）

2 褐斑病

- (1) 7月下旬の巡回調査では、1圃場で発生が確認された（発生圃場率7.7%、平年0%、図省略）。また、1圃場の区外でも発生が確認された。
- (2) 7月下旬の巡回調査で発生が確認されたのはいずれも前年の多発圃場だった。なお、この時期に発生が確認されたのは平成12年の調査開始以来初めてである。

3 ハダニ類

- (1) 7月下旬の巡回調査での発生圃場率は15.4%（平年24.5%）で、平年よりやや低かった（図2左）。
- (2) 寄生虫数の多い圃場率（寄生虫数：101頭以上/80葉中）は7.7%（平年1.4%）で、平年よりも高かった（図2右）。

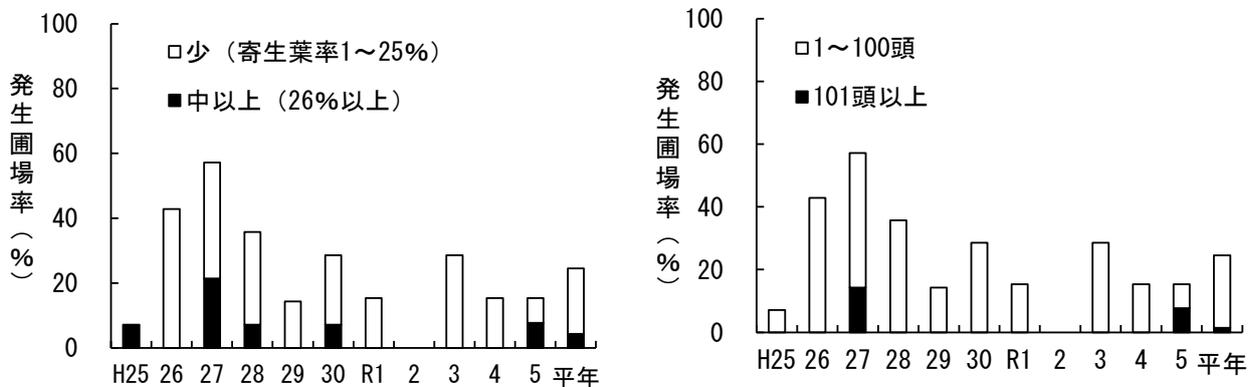


図2 ハダニ類の発生圃場率の年次推移（左：寄生葉率、右：寄生虫数/80葉中、7月下旬）

4 リンドウホソハマキ

- (1) 7月下旬の巡回調査での潜葉痕の被害発生圃場率は7.7% (平年23.7%) で平年より低かった (図3左)。
- (2) 生長部および茎部の被害は確認されなかった (平年15.1%、図3右)。

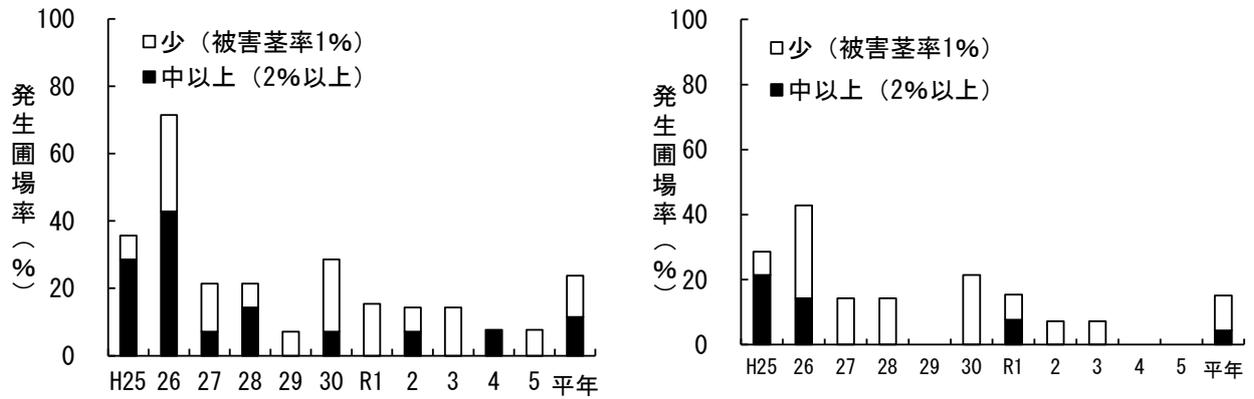


図3 リンドウホソハマキの発生圃場率の年次推移 (左: 潜葉痕、右: 生長部・茎部、7月下旬)